

プログラマブルアッテネータ 基板装着形 DC~100MHz

SROシリーズのアッテネータはプリント基板装着を可能にし切
換回路機構部にトランスファーリードスイッチを用いた信頼性の
高いアッテネータです。



取付無方向

共通仕様

- 周波数範囲……………DC~100MHz
- 入出力インピーダンス……50Ω, 75Ω
- V S W R……………1.3以下
- 減衰量誤差……………±(2%+0.2) dB
- 許容電力……………0.25W
- 寿命……………1000万回以上(機械的)
- 動作時間……………1.5mS max
- 入出力コネクタ……………ハーメチック端子
- 制御方法……………TTLレベル正, 負論理(指定)
- コイル電圧……………DC5V, 12V, 24V(指定)
- 制御電流……………表による
- 絶縁耐圧……………150V(DC) min
- 絶縁抵抗……………500(MΩ) min at 20 [°C]
- 使用温度範囲……………-10°C~+60°C(定格電圧印加時)
- 使用湿度範囲……………20~90%
- 使用電圧範囲……………5V- 4.0~ 5.5VDC
12V- 9.6~13.2VDC
24V- 19.2~26.4VDC

個別仕様

型 式	セクション数	減衰ステップ(dB)	最大減衰量(dB)	挿入損失(dB)
SRO - イ 4 150 ロ - ホ	4	1, 2, 4, 8	15	1.5 以下
SRO - イ 4 700 ロ - ホ	4	10, 20, 20, 20	70	1.5 以下
SRO - イ 4 900 ロ - ホ	4	10, 20, 30, 30	90	1.5 以下
SRO - イ 5 310 ロ - ホ	5	1, 2, 4, 8, 16	31	2.0 以下
SRO - イ 6 630 ロ - ホ	6	1, 2, 4, 8, 16, 32	63	2.5 以下
SRO - イ 8 850 ロ - ホ	8	1, 2, 4, 8, 10, 20, 20, 20	85	2.5 以下

※イの表示(入出力コネクタの種類を示す)

- 50P……………50Ω
- 75P……………75Ω

※ロの表示(セクション数を示す)

- 4……………セクション数
- ↓
- 8……………セクション数

※ハの表示(最大減衰量を表す)

- 700……………70dB
- 855……………85.5dB

※ニの表示(制御電圧を示す)

- 05……………5V
- 12……………12V
- 24……………24V

※ホの表示(制御方式を示す)

- 01……………TTLレベル正論理
- 02……………TTLレベル負論理

*形名表示例

SRO-50P 4 700 12-01
イ ロ ハ ニ ホ

イ……………インピーダンス(50Ω)

ハ……………最大減衰量(70dB)

ホ……………制御方式(TTLレベル正論理)

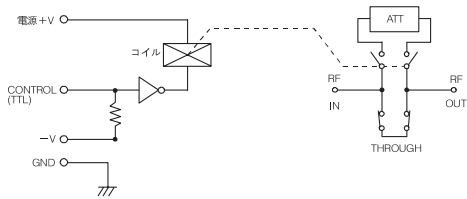
ロ……………セクション数(4)

ニ……………制御電圧(12V)

その他の仕様

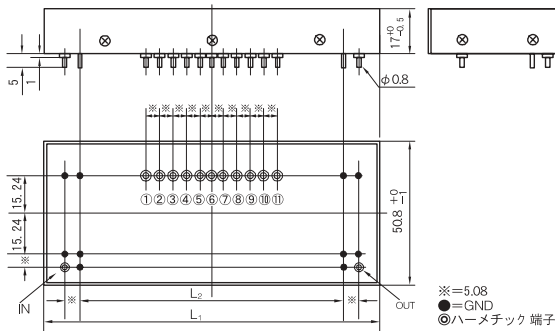
セクション数	制御電流(全消費電流)			外観寸法		定 価
	5V	12V	24V	L1	L2	
4	267mA	160mA	80mA	63.5mm	38.1mm	¥ 38,000
5	332mA	200mA	100mA	76.2mm	50.8mm	¥ 43,000
6	400mA	240mA	120mA	88.9mm	63.5mm	¥ 48,000
8	533mA	320mA	160mA	114.3mm	88.9mm	¥ 58,000

内部構造 (1ステップ)



注) 接点は接点メークで構成され電源印加中はTHROUGH側がONになり、その状態でCONTROL端子にTTLレベル、HIGH又はLOWの信号を加えることによりATT回路が動作します。
なお電源OFではリレー接点はオープン状態です。

外観寸法図 (単位 mm)



★本体長さ“L1”はセクション数によって異なり表1のようになります。また取付ピッチ“L2”も表1のようになります(取付巾は同一です)。

制御方法

- リレードライブ回路はRF信号グランド(ケース)に対しフローティングです。(リレードライブ電源回路の一侧とRFグランドを接続しての使用も可能です。)
- 正論理の場合、コントロール端子をTTLレベル“H”にすることにより各アッテネータがONします。又、負理論の場合、コントロール端子をTTLレベル“L”にすることにより各アッテネータがONします。
- コントロール端子に信号がない場合、RF信号回路はスルー状態です。
- コントロールのシンク電流は2mA以下です。

使用端子

セクション数	減衰量 (dB)	端 子 番 号										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
4	15			1	2	4		8	+	-		
4	70			10	20	20		20	+	-		
4	90			10	20	30		30	+	-		
5	31			1	2	4	8	16	+	-		
6	63		1	2	4	8		16	32	+	-	
8	85	1	2	4	8	10		20	20	20	+	-

＜注意＞
 ・空き枠は端子が付いていません。
 ・枠内の数字は減衰量(単位dB)です。
 ・セクション数、制御方法を選択し、その列に減衰量の小さな順に並びます。
 ・⊕、⊖はリレー電源電圧を加えて下さい。